

1

解答解説のページへ

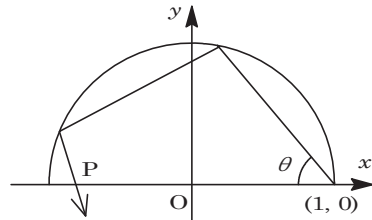
$(x, y)$  平面において、半円:  $x^2 + y^2 = 1, y \geq 0$  の内側が鏡になっているとする。図のように、定点  $(1, 0)$  より、 $x$  軸となす角  $\theta$  で光線が発射され、2 回半円に反射したのち、 $x$  軸上の点  $P$  を通過したとする。

(1) このような状況が起こるための  $\theta$  の範囲を求めよ。

よ。

(2)  $P$  の座標を  $\theta$  を用いて表せ。

(3)  $\theta$  が(1)の範囲を動くときの  $P$  の動く範囲を求めよ。



2

解答解説のページへ

(1) 極座標表示された複素数  $z = r(\cos \theta + i \sin \theta)$  が  $\left| z + \frac{1}{2} \right| < \frac{1}{2}$  を満たすための必要

十分条件を  $r$  と  $\theta$  を用いて表せ。

(2)  $n$  を自然数とするとき,  $|1 + z + \dots + z^n|^2$  を  $r$ ,  $\theta$ ,  $n$  を用いて表せ。

(3) 複素数  $z$  が  $\left| z + \frac{1}{2} \right| < \frac{1}{2}$  を満たすならば, すべての自然数  $n$  に対し,

$$|1 + z + \dots + z^n| < 1$$

が成り立つことを示せ。

3

解答解説のページへ

1 辺の長さが 1 の正三角形を底面とし、高さが 2 の三角柱を考える。この三角柱を平面で切り、その断面が 3 辺とも三角柱の側面上にある直角三角形であるようにする。そのような直角三角形の面積がとりうる値の範囲を求めよ。

4

解答解説のページへ

$n$  は 2 以上の自然数とする。関数  $y = e^x \cdots \cdots$ (ア),  $y = e^{nx} - 1 \cdots \cdots$ (イ)について以下の問いに答えよ。

- (1) (ア)と(イ)のグラフは第 1 象限においてただ一つの交点をもつことを示せ。
- (2) (1)で得られた交点の座標を  $(a_n, b_n)$  としたとき,  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  と  $\lim_{n \rightarrow \infty} na_n$  を求めよ。
- (3) 第 1 象限内で(ア)と(イ)のグラフおよび  $y$  軸で囲まれた部分の面積を  $S_n$  とおく。このとき,  $\lim_{n \rightarrow \infty} nS_n$  を求めよ。

1

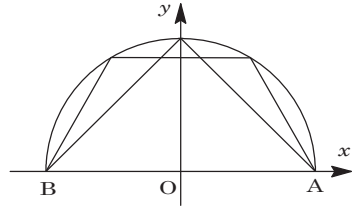
問題のページへ

(1)  $A(1, 0)$ ,  $B(-1, 0)$ とおく。

まず、 $A$  から光線が発射され、半円で1回反射して  $B$  に到達するとき、 $\theta = \frac{\pi}{4}$  となる。また、2回反

射して  $B$  に到達するとき、 $\theta = \frac{\pi}{3}$  となる。

よって、条件を満たす  $\theta$  は、 $\frac{\pi}{4} < \theta < \frac{\pi}{3}$  である。



(2)  $\angle AOC = \angle COD = \pi - 2\theta$  より、

$$\angle DOP = \pi - 2(\pi - 2\theta) = 4\theta - \pi$$

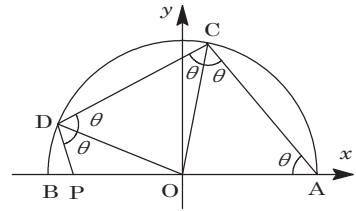
$$\angle DPO = \pi - (\theta + 4\theta - \pi) = 2\pi - 5\theta$$

$\triangle DPO$  に正弦定理を適用して、

$$\frac{OP}{\sin \theta} = \frac{1}{\sin(2\pi - 5\theta)}$$

$$OP = \frac{\sin \theta}{\sin(2\pi - 5\theta)} = -\frac{\sin \theta}{\sin 5\theta}$$

点  $P$  は  $x$  軸上の負の部分にあるので、 $P\left(\frac{\sin \theta}{\sin 5\theta}, 0\right)$  となる。



(3)  $i^0 = 1$  として、 $\cos 5\theta + i \sin 5\theta = (\cos \theta + i \sin \theta)^5 = \sum_{k=0}^5 {}_5C_k \cos^{5-k} \theta \cdot \sin^k \theta \cdot i^k$

$$\sin 5\theta = {}_5C_1 \cos^4 \theta \sin \theta - {}_5C_3 \cos^2 \theta \sin^3 \theta + {}_5C_5 \sin^5 \theta$$

$$= 5 \cos^4 \theta \sin \theta - 10 \cos^2 \theta \sin^3 \theta + \sin^5 \theta$$

$$(2) \text{より, } x = \frac{\sin \theta}{\sin 5\theta} = \frac{1}{5 \cos^4 \theta - 10 \cos^2 \theta \sin^2 \theta + \sin^4 \theta}$$

$$= \frac{1}{5 \cos^4 \theta - 10 \cos^2 \theta (1 - \cos^2 \theta) + (1 - \cos^2 \theta)^2}$$

$$= \frac{1}{16 \cos^4 \theta - 12 \cos^2 \theta + 1} = \frac{1}{16 \left( \cos^2 \theta - \frac{3}{8} \right)^2 - \frac{5}{4}}$$

(1)より、 $\frac{\pi}{4} < \theta < \frac{\pi}{3}$  なので  $\frac{1}{4} < \cos^2 \theta < \frac{1}{2}$ ,  $-\frac{5}{4} \leq 16 \left( \cos^2 \theta - \frac{3}{8} \right)^2 - \frac{5}{4} < -1$  から  $-1 < x \leq -\frac{4}{5}$  となる。すなわち、点  $P$  は  $x$  軸上の  $-1 < x \leq -\frac{4}{5}$  の部分を動く。

**[解説]**

やや直観的すぎるかもしれませんが、(1)は最初に考えたように書きました。また、(3)は微分するとたいへんな計算になりましたので、方針転換した後の解です。

2

問題のページへ

(1)  $\left|z + \frac{1}{2}\right| < \frac{1}{2}$  より,  $\left|z + \frac{1}{2}\right|^2 < \frac{1}{4}$  なので,  $z + \frac{1}{2} = r \cos \theta + \frac{1}{2} + ir \sin \theta$  から,

$$\left(r \cos \theta + \frac{1}{2}\right)^2 + r^2 \sin^2 \theta < \frac{1}{4}, \quad r^2 + r \cos \theta < 0$$

$r > 0$  より,  $r + \cos \theta < 0$

(2) (i)  $z = 1$  のとき  $|1 + z + \dots + z^n|^2 = |n+1|^2 = (n+1)^2$

(ii)  $z \neq 1$  のとき  $|1 + z + \dots + z^n|^2 = \left|\frac{z^{n+1} - 1}{z - 1}\right|^2 = \frac{|z^{n+1} - 1|^2}{|z - 1|^2}$

$$\begin{aligned} |z^{n+1} - 1|^2 &= |r^{n+1} \{ \cos(n+1)\theta + i \sin(n+1)\theta \} - 1|^2 \\ &= |r^{n+1} \cos(n+1)\theta - 1 + ir^{n+1} \sin(n+1)\theta|^2 \\ &= \{ r^{n+1} \cos(n+1)\theta - 1 \}^2 + \{ r^{n+1} \sin(n+1)\theta \}^2 \\ &= r^{2n+2} - 2r^{n+1} \cos(n+1)\theta + 1 \end{aligned}$$

$$|z - 1|^2 = r^2 - 2r \cos \theta + 1$$

$$\text{したがって, } |1 + z + \dots + z^n|^2 = \frac{r^{2n+2} - 2r^{n+1} \cos(n+1)\theta + 1}{r^2 - 2r \cos \theta + 1}$$

(3) (2)より,  $|1 + z + \dots + z^n| < 1 \Leftrightarrow \frac{r^{2n+2} - 2r^{n+1} \cos(n+1)\theta + 1}{r^2 - 2r \cos \theta + 1} < 1$

$$\Leftrightarrow r^{2n+2} - 2r^{n+1} \cos(n+1)\theta + 1 < r^2 - 2r \cos \theta + 1$$

$$\Leftrightarrow r^{2n+2} - 2r^{n+1} \cos(n+1)\theta - r^2 + 2r \cos \theta < 0$$

$$\Leftrightarrow r^2(r^{2n} - 1) - 2r \{ r^n \cos(n+1)\theta - \cos \theta \} < 0$$

ここで, (1)より,  $0 < r < -\cos \theta \leq 1$  なので  $r^{2n} - 1 < 0$  となり,  $r^2(r^{2n} - 1) < 0$

また,  $r^n \cos(n+1)\theta - \cos \theta > r^n \cos(n+1)\theta + r \geq r(-r^{n-1} + 1) > 0$

$$-2r \{ r^n \cos(n+1)\theta - \cos \theta \} < 0$$

以上より,  $r^2(r^{2n} - 1) - 2r \{ r^n \cos(n+1)\theta - \cos \theta \} < 0$

すなわち,  $\left|z + \frac{1}{2}\right| < \frac{1}{2}$  のとき  $|1 + z + \dots + z^n| < 1$  が成立する。

### 【解説】

問題文が曖昧なのですが, ここでは  $r > 0$  として解を作りました。なお, (3)の不等式の証明には, いろいろなことを考え, 時間がかかってしまいました。最後は押さえ込みで処理しました。

3

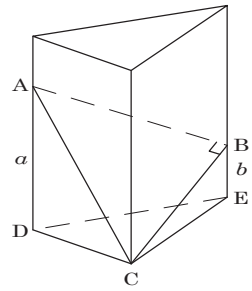
問題のページへ

断面の直角三角形の 1 つの頂点 C を三角柱の底面上におき、 $AD = a$ 、 $BE = b$ として右図のように設定する。

$$AC = \sqrt{a^2 + 1}, \quad BC = \sqrt{b^2 + 1}$$

$$AB = \sqrt{(a - b)^2 + 1}$$

$0 \leq b \leq a \leq 2$  とすると、AC が最大辺となり、 $\angle B = 90^\circ$  となる。



三平方の定理を適用して、 $a^2 + 1 = b^2 + 1 + (a - b)^2 + 1$

$$2b^2 - 2ab + 1 = 0, \quad a = b + \frac{1}{2b}$$

すると、 $0 \leq b \leq b + \frac{1}{2b} \leq 2$  より、 $2b^2 - 4b + 1 \leq 0$  となり、 $\frac{2 - \sqrt{2}}{2} \leq b \leq \frac{2 + \sqrt{2}}{2}$

このとき、 $\triangle ABC$  の面積を  $S$  とすると、

$$S = \frac{1}{2} \sqrt{b^2 + 1} \sqrt{(a - b)^2 + 1} = \frac{1}{2} \sqrt{(b^2 + 1) \left( \frac{1}{4b^2} + 1 \right)} = \frac{1}{2} \sqrt{b^2 + \frac{1}{4b^2} + \frac{5}{4}}$$

ここで、 $f(b) = b^2 + \frac{1}{4b^2} + \frac{5}{4}$  とおくと、 $f'(b) = 2b - \frac{1}{2b^3} = \frac{4b^4 - 1}{2b^3}$

さて、 $f(b) = \left( b + \frac{1}{2b} \right)^2 + \frac{1}{4}$  と変形すると、

$$f\left(\frac{\sqrt{2}}{2}\right) = \left(\frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}}\right)^2 + \frac{1}{4} = 2 + \frac{1}{4} = \frac{9}{4}$$

$b$	$\frac{2 - \sqrt{2}}{2}$	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$	...	$\frac{2 + \sqrt{2}}{2}$
$f'(b)$		-	0	+	
$f(b)$	$\frac{17}{4}$	$\searrow$	$\frac{9}{4}$	$\nearrow$	$\frac{17}{4}$

$$f\left(\frac{2 \pm \sqrt{2}}{2}\right) = \left(\frac{2 \pm \sqrt{2}}{2} + \frac{1}{2 \pm \sqrt{2}}\right)^2 + \frac{1}{4} = 4 + \frac{1}{4} = \frac{17}{4}$$

増減表から  $\frac{9}{4} \leq f(b) \leq \frac{17}{4}$  となるので、 $\frac{1}{2} \sqrt{\frac{9}{4}} \leq S \leq \frac{1}{2} \sqrt{\frac{17}{4}}$  より、

$$\frac{3}{4} \leq S \leq \frac{\sqrt{17}}{4}$$

[解説]

$b = \frac{2 \pm \sqrt{2}}{2}$  のとき、 $f(b)$  の値をそのまま計算するとたいへんそうなので工夫をしました。しかし、いま考えると  $f(b) = b + \frac{1}{2b}$  と設定したほうがよかったかもしれません。

4

問題のページへ

(1)  $y = e^x \cdots \cdots (\text{ア}), y = e^{nx} - 1 \cdots \cdots (\text{イ})$

$$(\text{ア})(\text{イ})\text{より}, e^x = e^{nx} - 1, e^{nx} - e^x - 1 = 0$$

$$f(x) = e^{nx} - e^x - 1 \text{とおくと},$$

$$f'(x) = ne^{nx} - e^x = e^x \{ ne^{(n-1)x} - 1 \}$$

$x \geq 0$  において,  $n-1 \geq 1$  より  $ne^{(n-1)x} \geq n > 1$  なので  $f'(x) > 0$  となり,  $f(x)$  は単調増加となる。

$$\text{また}, f(0) = -1 < 0, \text{さらに}, f\left(\frac{1}{n}\right) = e - e^{\frac{1}{n}} - 1 \geq e - e^{\frac{1}{2}} - 1$$

ここで,  $(e-1)^2 - e = e^2 - 3e + 1 = \left(e - \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{5}{4} > 1.2^2 - \frac{5}{4} > 0$  となるので,  $e-1 > e^{\frac{1}{2}}$  から,  $f\left(\frac{1}{n}\right) > 0$  である。

以上より,  $f(x) = 0$  は  $0 < x < \frac{1}{n}$  において, ただ一つの解をもつ。すなわち, (ア) と(イ)のグラフは第1象限においてただ一つの交点をもつ。

(2) (1)より,  $0 < a_n < \frac{1}{n}$  なので,  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$

$$(\text{ア})(\text{イ})\text{より}, b_n = e^{a_n}, b_n = e^{na_n} - 1$$

$$e^{a_n} = e^{na_n} - 1, na_n = \log(e^{a_n} + 1)$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} na_n = \lim_{n \rightarrow \infty} \log(e^{a_n} + 1) = \log 2$$

(3)  $S_n = \int_0^{a_n} \{ e^x - (e^{nx} - 1) \} dx = \left[ e^x - \frac{1}{n} e^{nx} + x \right]_0^{a_n} = e^{a_n} - 1 - \frac{1}{n} (e^{na_n} - 1) + a_n$

$$nS_n = n(e^{a_n} - 1) - e^{na_n} + 1 + na_n = \frac{e^{a_n} - 1}{a_n} \cdot na_n - e^{na_n} + 1 + na_n$$

(2)より,  $n \rightarrow \infty$  のとき,  $a_n \rightarrow 0$  より  $\frac{e^{a_n} - 1}{a_n} \rightarrow 1$ , さらに  $na_n \rightarrow \log 2$  なので,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} nS_n = 1 \cdot \log 2 - e^{\log 2} + 1 + \log 2 = 2 \log 2 - 1$$

### [解説]

最初,  $f\left(\frac{1}{n}\right) > 0$  の代わりに,  $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$  から(1)の結論を導きましたが, それでは(2)の  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  が求まりません。この  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  の値が0であることはグラフから明らかなので, いっそう手間取りました。

